

前巻までのあらまし

大正三（一九一四）年に勃発した  
第一次世界大戦により  
日本の産業界に  
一大チャンスが到来する

世界一周視察を終え  
冷静に国際情勢を見極めた  
日本綿花の喜多又蔵は  
日本の紡績業界に  
大量の注文が来ることを予期し  
世界各地の駐在員に  
原料確保を指示

鈴木商店の金子直吉も  
実需を正確に見極め  
鉄の買いを指示  
そして造船業に進出  
さらに硬化油事業  
ゴム事業などにも進出し  
多角化を加速させた

岩井商店の岩井勝次郎は  
セルロイドの将来性に着目し  
新たなセルロイド工場を  
尼崎に岩井単独で新設  
大戦により鉄板の  
輸入が細ったことを機に  
亜鉛鉄板工場の  
国産化のため山口県徳山に  
進出した





当初短期間で終結すると

予測された第一次大戦は長期化し  
終結まで四年の歳月を要することになる

この予想外の展開は日本の産業界を  
新たな高みに導くことになる

日本の貿易は伸長し貿易黒字国となる

紡績業界を原料、製成品輸出の  
両面で支える日本綿花

輸入品の国産化を  
さらに進める岩井商店

ロンドンでは  
鈴木商店の高畑誠三が大活躍

そしてついに先進国と肩を並べ  
凌駕する瞬間を高畑が作り出す

双日源流の三社は  
ここに絶頂期を迎える

# sojitz

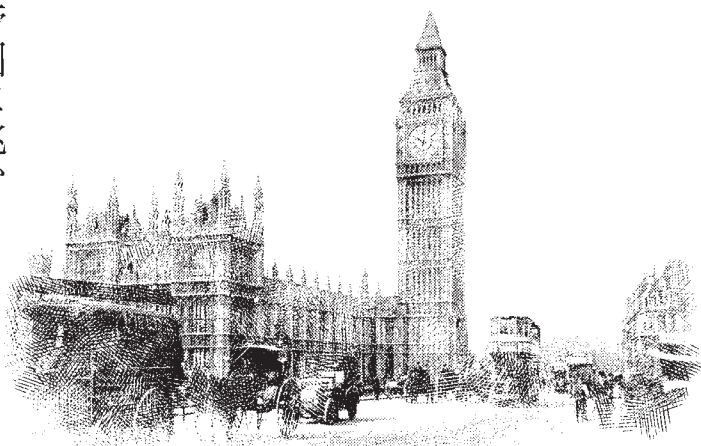
## Hassojitz

発想 × sojitz

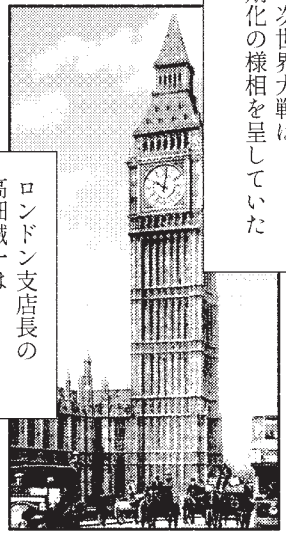
第1章

鈴木商店

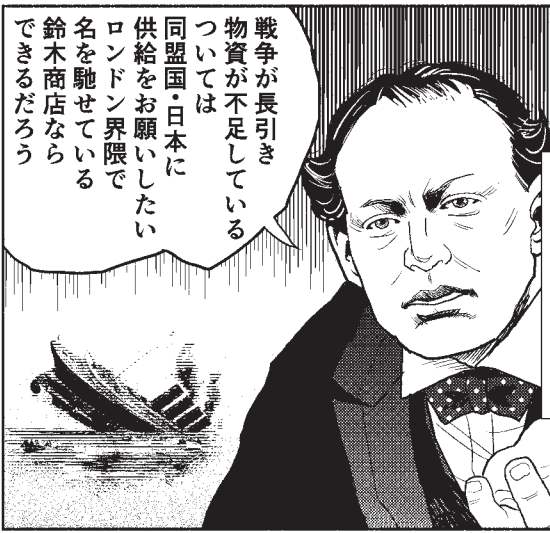
カイゼル高畑、大英帝国に挑む



第一次世界大戦は  
長期化の様相を呈していた

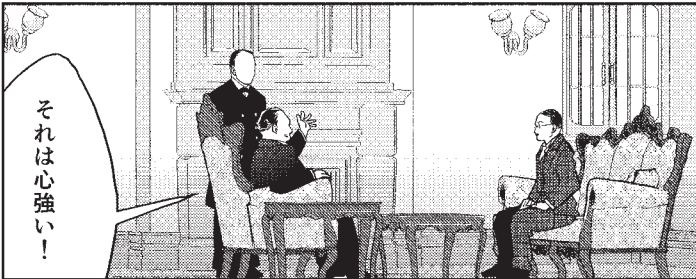


ロンドン支店長の  
高畑誠一は  
チャーチル海軍相に  
呼び出された



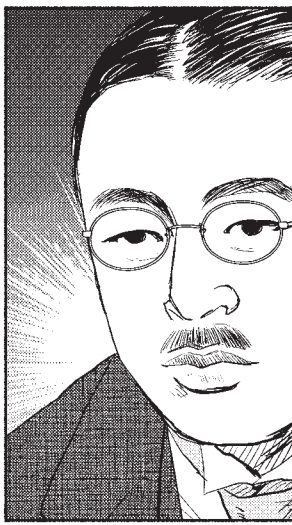
戦争が長引き  
物資が不足している  
ついては  
同盟国・日本に  
供給をお願いしたい  
ロンドン界限で  
名を馳せている  
鈴木商店なら  
できるだろう

承知しました閣下  
この鈴木商店が  
鉄、船舶、食料など  
なんでも供給  
しましょう



それは心強い！

ただし条件があります  
五〇万ポンドの手付金を  
小切手でお願  
致したく……



なにっ!?  
大英帝国を  
信用できない  
というのか





失礼ですが  
大英帝国であっても  
鈴木商店にとっては  
数多くの取引先のひとつ  
すなわち「一介の客」  
に過ぎません  
お受けいただけ  
ないようでしたら  
失礼します

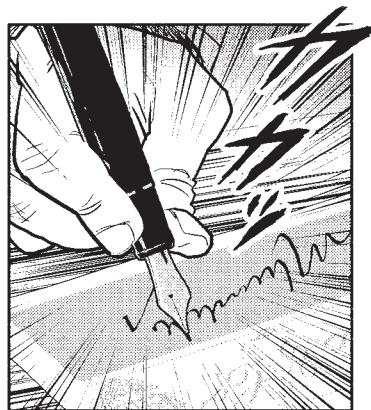
五〇万ポンド  
……この  
ジャップが

待て……  
分かった  
とにかく物資を  
頼む……



公平なお取引  
ありがとうございます

この鈴木商店  
お客様との約束は  
必ず守ります  
日本はもはや野蠻と  
いわれた小国では  
ありませんので……



ぬぬ……  
皇帝を商人にした  
ような男だ  
カイゼル高畑  
……



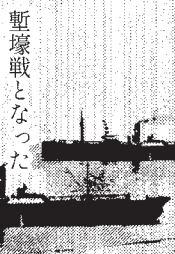
言葉遣いには  
お気を付けくださいませ

この瞬間日本は  
欧米列強と肩を並べ  
そして凌駕した  
近代化の結実を示す  
一場面であった

そして伝説が生まれる

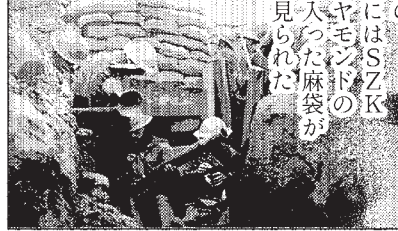
北海道の豆類、  
澱粉、雑穀を満載し  
船もろとも連合国に  
売り渡す

「船売り」という  
離れ業を見せる  
小麦粉は五〇〇万袋  
を売り込み



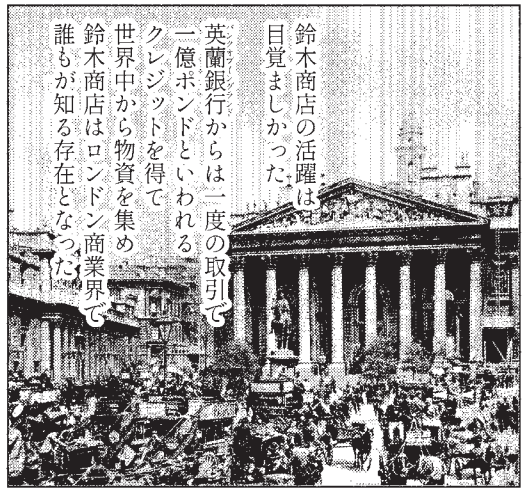
塹壕戦となった  
欧州戦線の

その土裏にはS.Z.K  
インダイヤモンドの  
マークが入った麻袋が  
至る所に見られた  
という

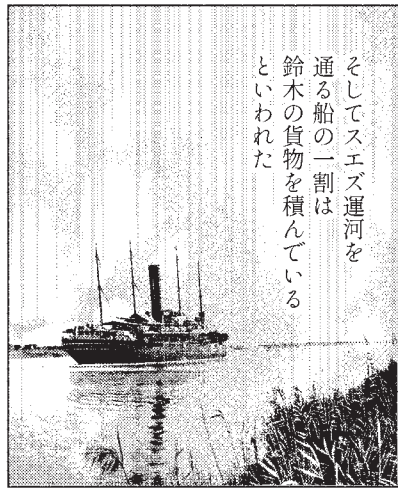


鈴木商店の活躍は  
目覚ましかった

英蘭銀行からは二度の取引で  
一億ポンドといわれる  
クレジットを得て  
世界中から物資を集め  
鈴木商店はロンドン商業界で  
誰もが知る存在となった



そしてスエズ運河を  
通る船の割には  
鈴木木の貨物を積んでいる  
といわれた



やあ高畑くん  
日本人で初めて  
バルチック海運取引所の  
会員になったんだって

川崎造船所 社長  
まつかた こうじろう  
松方幸次郎





それにしても  
高畑くんのところには  
日本からよく  
鈴木木若者が来る  
ものだね

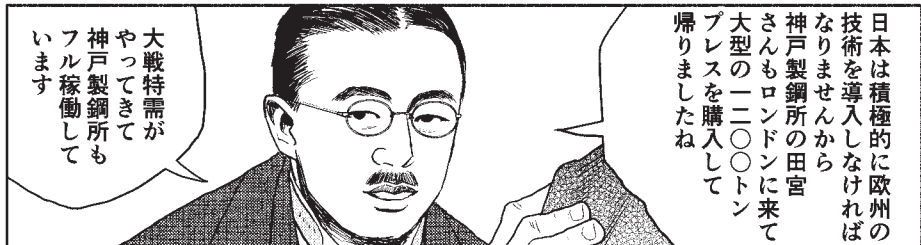


ええ  
それより松方さんも  
儲けられたそうで

金子さんの発案でね  
同じ型のストックポートを  
神戸港に大量に並べて  
いたんだ

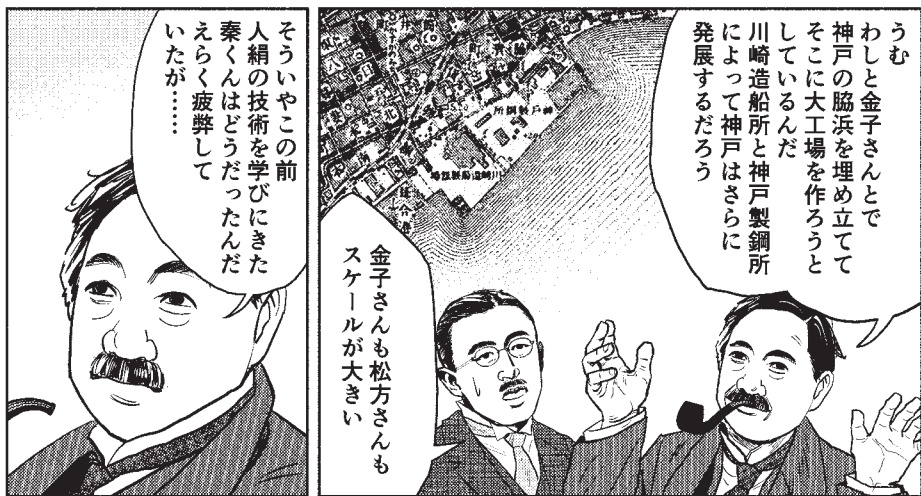
連合国は船舶に  
相当困っていて  
ずいぶん高値で買い  
取ってくれたよ

松方は  
鈴木商店の一室に  
陣取っていた



日本は積極的に欧州の  
技術を導入しなければ  
なりませんから  
神戸製鋼所の田宮  
さんもロンドンに来て  
大型の一二〇〇トン  
プレスを購入して  
帰りましたね

大戦特需が  
やってきて  
神戸製鋼所も  
フル稼働して  
います



うむ  
わしと金子さんとで  
神戸の脇浜を埋め立てて  
そこに大工場を作ろうと  
しているんだ  
川崎造船所と神戸製鋼所  
によって神戸はさらに  
発展するだろう

金子さんも松方さんも  
スケールが大きい

そういやこの前  
人絹の技術を学びにきた  
秦くんはどうだったんだ  
えらく疲弊して  
いたが……

秦くんですか……  
実はこちらに  
来る前に……

金子さん……  
開発が上手くいかず  
実はヴェイコースの  
発明者で人絹の  
第一人者である  
クロスにアドバイスを  
求めたんです  
その返事がきたん  
ですが……

ほーどれどれ

『君が送ってくれた  
人絹見本は不出来である。  
君に忠告する。  
この仕事を日本で始める  
ことは思いとまれ。  
日本で人絹を製造する  
ことは無謀である』

……がーはっはっ！  
これはまた馬鹿にされた  
もんやのう!!

なあに  
西洋人にできて  
我々にできんわけが  
なからうが!

それで金子さんが  
外務大臣に紹介状を  
書いてもらって  
ロシア、ヨーロッパ  
各地を回って……  
私もうまく話を  
つないだのですが  
まったく相手に  
されず



それでも秦さんは  
英国のコートルズの  
工場の排水をくみ  
取ったり



職工をご馳走して  
工場の見取図を  
書かせたり……

コラ起きろーっ  
なんの為に  
メシを奢った  
と……

はっ！



これは



これが……  
コートルズの  
糸……!!

……ぐ……  
う……

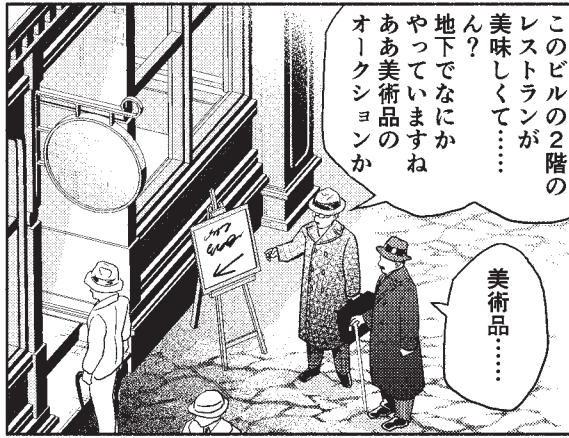


その後  
フランス、米国と  
渡ったものの  
どこも鈴木商店との  
提携も断られ  
技術指導を受けられず  
そのまま帰国した  
そうです

かわいそうに  
……

欧米は  
秘密主義だからなあ  
急激に成長する日本を  
警戒しているんだろう





このビルの2階の  
レストランが  
美味しくて……  
ん？  
地下でなにか  
やっていますね  
ああ美術品の  
オークションか

美術品……



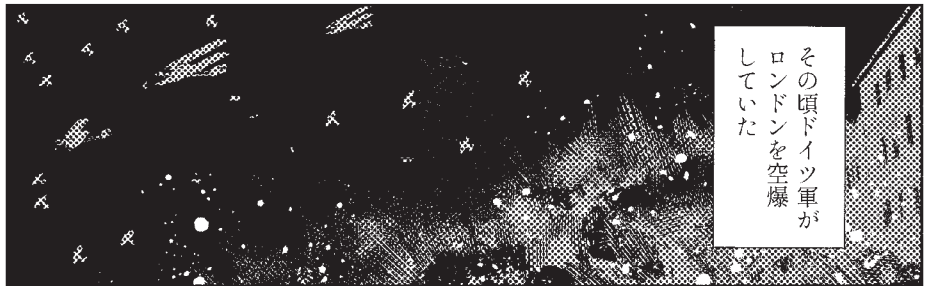
ふーむ

いっちょ  
やってみるか  
……



……おっと  
インドのTATAと  
会う約束だったな  
川崎造船所と  
神戸製鋼所向けの銑鉄は  
12万トンの調達契約だ

高畑くん  
上手くまとめてくれ  
ランチを済ませて  
から行こう



その頃ドイツ軍が  
ロンドンを空爆  
していた



松方さん  
皮肉なもので戦争に  
よって技術革新が  
どんどん進みますね  
まさか航空機が戦争に  
使われるなんて……



戦争は悲惨だよ  
だがな高畑くん  
我々は商人だ  
生き残って  
いざれ平和な世界の  
ために技術を使おう  
じゃないか

それが商人の使命  
というものだろう

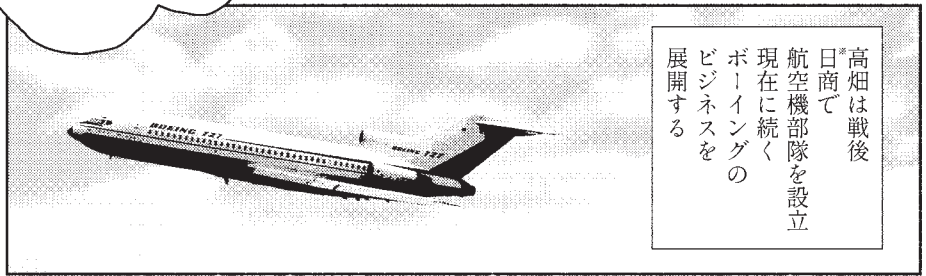
松方さん……



わたしは  
日本に戻って  
飛行機をつくるよ  
今回の空爆で  
飛行機の時代が  
やってくるかと確信した  
日本と英国がもっと  
近くになるような  
世界にしてやろう  
じゃないか

そうですね  
鈴木商店もいずれ  
飛行機を……

ただ我々はまず  
化学・鉄鋼・機械など  
幅広い産業で革命を  
起こそうと思えます



高畑は戦後  
日商で  
航空機部隊を設立  
現在に続く  
ボーイングの  
ビジネスを  
展開する

※ 日商は鈴木商店破綻後に高畑ら若手が中心となって設立された貿易中心の商社、現・双日。



一方の松方は  
美術品の収集にも  
乗り出した

高畑くん  
西洋の美術品を  
日本の若者にもっと  
知ってほしいんだ  
そのためには日本で  
西洋美術を展示する  
美術館が必要だ

松方さんの目利きなら  
きつとよい品を集められる  
のではないでしょう

うむっよーし  
じゃあ支払いは  
頼んだぞ！

はい？

こうして松方は  
フランス・ドイツなどの  
美術品収集を行った

資金は心配ない  
鈴木商店に支払いを  
立て替えてもらう

あの鈴木商店ですか  
でしたら何の  
問題ありません



とうわけだ  
高畑くん  
頼んだぞ

もう話を  
まとめたん  
ですか……

ええいっ  
承知しました！



なお鈴木商店の  
支払い記録は  
今でも残っている

こうして収集された美術品は  
松方コレクションと呼ばれる  
優品揃いで知られる  
現在その多くは  
国立西洋美術館に収蔵される

